

討論メモ

「国際金融資本の産業支配」

令和 4年5月17日

1. 5月は、表題について森田が下記のごとくにプレゼンテーションを行いました。

ユダヤを中心とする国際金融資本の産業支配が進んでいます。日本ではほとんど報道されることもないのですが、世界の大企業への金融支配は加速されているようです。勿論、産業に止まらず、政治、歴史、文化に及び、社会のあり方、人の生き方までも支配し、隷属させようとしているかのようです。

金融資本の中心のユダヤ資本、そのまた中心のロスチャイルド家のドイツフランクフルトのゲッターからの勃興、同家と日本の開国や近代化との関わり、金融資本による産業支配の現時点での進展度合いなどについて、以下、その実態の一部に触れてみます。

- ①. ロスチャイルド家の台頭
- ②. 明治維新とロスチャイルド家
- ③. 日清日露とロスチャイルド家
- ④. マルクスとロスチャイルド家

⑤. 産業支配の実態

詳細は別添のレジメをご参照ください。

2. 引き続き出席の7名による意見交換に移り、下記の如き意見が出された。

- ・外資による日本企業の株式保有は急速に進んでいる。東証全体では、1990年の外資比率4.2%から、2015年には31.7%まで急増している。
- ・株主総会などにおける外資の影響力はどの程度か？
- ・ソニーなどグローバル企業では外資比率6割前後のところもある。外資の発言力は大きくなっているのではないか。
- ・過去30年、賃金は上がっていないが、配当は6倍になっている。企業は収益を上げて社員には渡らず、外資に奉仕している。
- ・利益の配分の仕方が変わってきている。かつては社員に手厚かったが、今や株主最優先だ。
- ・日本企業の配当性向が国際標準よりも低かったのではないか。
- ・しかし、国際標準に合わせることで、日本企業の特質を失ってきた30年だったともいえる。
- ・かつて日本企業では社長と新入社員の給与差が7倍（米国は70倍）と小さ

かったが、今や急速に拡大している。

- ・一般社員と役員の給与差も拡大している。

- ・金融資本による産業支配の実態や集中度合いが日本ではほとんど報道されないのが残念だ。

- ・ロスチャイルドとロックフェラーはどういう関係か？

- ・ロスチャイルドは19世紀の初頭にはロンドンのシティーを抑え欧州で強い影響力を有していた。ロックフェラーは19世紀後半の石油開発から始まり、石油の消費急増とともに急成長した。スタンダードオイルとして世界の石油市場を抑えるには、ロスチャイルドの指導と支援があったと伝えられる。いわば兄弟分で、基本的には共闘、時に競い合ってきたのではないか。

- ・ロスチャイルドは各国に中央銀行を作らせ、金本位制を採らせてきた。米国の中央銀行に相当するFRBは民間企業で、いまだにロスチャイルドが牛耳っているといわれている。

- ・米国大統領の何人かは、民間金融資本による中央銀行の設立に反対してきた。

しかし、その結果、リンカーンのように非業の死を遂げている。

- ・日銀も、ロスチャイルドの支援を受けた松方正義が中心になって設立された。

今もロスチャイルドの影響が残っていると推測されている。

- ・ユダヤ人は世界を流浪しいろいろの人種や民族と交わってきている。人種は多様だが、ユダヤ教の律法を重んじ、ユダヤ文化と歴史を尊重する人たちではないか。

- ・世界のユダヤ人口は 15 百万とも、2 千万ともいわれるが、正確な数字は把握されていないようだ。

- ・20 世紀の初頭に、二百万とも四百万ともいわれる大量の東欧系ユダヤ人が米国に移住させられて、NY の下町、あるいはシカゴに住み着いたが、貧しいが優秀な人たちで、今や米国の政官財のリーダーを輩出している。

- ・キッシンジャー、ブレジンスキー、現在のブリンケン国務長官、ヌーランド国務次官などはみな東欧系ユダヤ人だ。

- ・ノーベル賞受賞者も多く、美術、音楽関係にもユダヤ人が多い。

- ・今次のウクライナ戦争も仕掛け人は国際金融資本との見方もある。

- ・兵器産業、エネルギーメジャー、食料メジャーは大儲けしている。

- ・金融資本は十分に儲けたのだから、そろそろ停戦したらどうか。
- ・しかし、プーチンの排除や米国の中間選挙などの狙いも絡んで、停戦の時期は見通しが難しい。

- ・アフガンやベトナムでは米軍が援助した武器が敵側に渡ったりしていた。今回はウクライナの戦意を確かめた上で、米国はウクライナへの本格支援を始めている。

- ・バイデン政権はロシアに怨念を持つ東欧系ユダヤ人で固められている。
- ・ロシアの欧州に対する思いは複雑なようだ。歴史的に欧州に脅威を感じていることは軽視すべきではない。

- ・一方では、ロシアは欧州の一部という思いも強いようだ。

- ・ロシアは北海道への侵略も匂わせ始めている。

。ロシアは国際金融資本に対する数少ない抵抗勢力という側面もある。

以上